

# 令和3年度学校自己評価システムシート (県立熊谷西高等学校)

目指す学校像 生徒の力を最大限に伸ばす県北が誇る進学校

- 重点目標
- 1 知性・勇気・品格を備えた西高生を育成する
  - 2 高い志と学力を育み、第一志望進路を実現できる西高生を育成する
  - 3 家庭や地域に積極的に働きかけ、開かれた西高づくりを推進する
  - 4 SSH指定校として、西高生の科学的資質向上に全校で取り組む

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )		
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	多くの生徒が節度を持ち、主体的に学校生活を送っている。一層自主性と積極性を高めることが望まれる。	⑦マナー、ルール順守を徹底する。 ①自主性と積極性をより一層高める。 ⑦心身の健康増進を図る。	①交通安全指導、登校指導の実施。 ②挨拶の励行。 ①行事や委員会活動において生徒の自主的活動を推進する。 ②部活動においてチャレンジ精神やチームワークを育成し、達成感や自信を持たせる。 ①教育相談体制の充実。 ②感染症拡大防止の徹底。	①年20回以上実施したか。 ②生徒の自発的な挨拶が増えたか。 ①生徒の自主的な取り組みが増えたか。 ①生徒が協働し行事が成功したか。 ②複数の部で県大会入賞以上。 ②部活動加入率90%以上。 ①生徒が相談しやすい環境を作れたか。 ①教職員間の共通理解に基づいた指導が実施できたか。 ②感染症拡大防止が徹底できたか。			
2	近年、進学実績の向上が見られる。新学習指導要領や、大学入試の変化に適切に対応しつつ、一層充実した進路指導が求められている。	⑦新学習指導要領、高大接続改革を踏まえた授業改善により、思考力、判断力、表現力を向上させる。 ①国公立大学や難関私立大学等の第一志望校合格を実現する。	①探究活動を通じて主体的に学ぶ態度を育てる。 ②各授業でAL(アクティブラーニング)活動を充実させる。 ③朝学習、進路自習室、学習動画等の活用により自学自習を促進する。 ④読書を推奨し、読み取る力と他者に伝える力を育成する。 ①補習や個別指導等大学入試対策の充実を図る。 ②適切な情報提供や個人面談等により、最後まで高い目標を諦めさせない指導を行う。	①探究活動の成果が見られるか。 ②各教科で「AL5Five」「LO5Five」等により「主体的・対話的で深い学び」を実現できたか。 ③朝学習や自習室及び家庭における学習時間が増加したか。 ④図書館の利用者が増加したか。 ④ビブリオバトル等の読書推進活動に積極的に取り組めたか。 ①効果的な大学入試対策を実施できたか。 ①補習参加者が増加したか。 ②第一志望校進学数が昨年より増えたか。			
3	高大連携等校外の教育力を活用した特色ある教育活動が実施されている。生徒募集に繋がる積極的なPRが必要である。	⑦大学、企業、研究機関等との連携や家庭との連携を一層充実させる。 ①生徒募集活動を一層充実させる。	①既存の連携事業を一層強化する。 ②講演会や学校ホームページ、進路の道標等を活用し、保護者に十分な進路情報を提供する。 ③学校行事とPTA各種委員会との連携を図る。 ①学校説明会、相談会等を効果的に実施する。 ②インターネットを一層活用する。	①実施回数や参加者数が昨年度を上回ったか。 ②講演会の参加者が増加したか。 ②十分な情報提供ができたか。 ③学校行事実施においてPTAと積極的な連携ができたか。 ①②生徒募集において昨年度の倍率を上回ることができたか。			
4	学校全体としてのSSH事業への積極的な取り組みが定着しつつある。中間評価の年度として更に取り組みの深化を図る。	SSH事業を通じて科学的素養や探究心、プレゼンテーション能力等を育成する。	①全職員が共通理解のもとSSH事業に取り組む。 ②「KN-Line(熊西『学び』の双方向ライン)」を一層充実させる。 ③「SL-Net(サイエンスラーニングネットワーク)」の取り組みとして情報発信や地域貢献を推進する。 ①全職員による事業展開ができたか。 ②課題研究や探究活動における発表の機会等を通じて、双方向の学びを充実させられたか。 ③効果的な情報発信、地域貢献ができたか。				

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	令和	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		